



私立・専修入試を終えて…

私立高校・専修学校の入試が終わりました。皆さんに書いてもらった入学試験の記録を読んでもみると、面接で緊張したという人が多かったです。また、学力試験の問題が難しかったり、時間が足りなかったりと苦労した人もいました。公立高校を受検する人は、今回の経験を生かして頑張りたいと思います。そして、今一度体調管理も徹底しましょう。



私立高校・専修学校入学金（前納分）について

各家庭に入試結果の通知が届くかと思えます。私立高校・専修学校一般入試で合格した場合は、速やかに前納分の入学金の納入をお願いします。納入しなかった場合は、合格が無効となります。

（各学校によって表記の仕方が異なりますが、同じようなものとして扱ってください。例：入学一時金，入学手続金など）

ほとんどの学校で20,000円を納めることになっています。納入期限については、それぞれの学校によって違うので、各学校の募集要項を今一度確認の上、確実に納入をお願いします。また、確実に納入されたかの確認をしたいので、担任の先生に報告をしてください。

保護者の皆様にはお手数をおかけしますが、よろしくお願いします。



入試を終えての感想（私立・専修編）

一番後ろの席で受験をしましたが、時計や黒板の注意事項が見えづらいつ感じだったので、時計を持参したり、事前に注意事項を確認したりすることが大事だと思いました。面接では他の人が言い方が違うのを見ましたが、それに囚われずに自分のやり方を貫くことで、焦りをなくすようにしました。

学力検査はある程度解けたけど、とにかく問題を解くのに必死で時間ギリギリになってしまった教科がいくつかありました。面接は、こんな質問が来るだろうなあと予想していた質問をされたので、準備は大切だと思いました。

数学は応用問題が多く出題されると思っていましたが、意外に基礎的な問題が多くて安心しました。英語の長文問題では質問の内容も英語だったため、少し時間がかかりました。面接官の先生に自分の伝えたいことをしっかり伝えることができ良かったです。

<面接の質問内容>

- ・志望理由
- ・学校説明会（体験入学）に参加したか
- ・中学校の思い出
- ・中学校生活で得たもの
- ・自分の長所，短所
- ・最近気になるニュース
- ・最近読んだ本
- ・自己PR
- ・高校でやりたい部活動
- ・将来の夢
- ・国際問題について気になること
- ・校則について
- ・3年生での欠席，遅刻，早退の理由について

公立入試で面接のある人は参考にしましょう！

公立高校入試Web出願 今後の動きについて

- 1 / 2 5 (木) 推薦・特色選拔出願情報登録開始～入学検定料納付まで (STEP 2～STEP 3)
(1 / 2 9 (月) まで)
- 1 / 2 9 (月) 定時制前期選拔出願情報登録開始～入学検定料納付まで (STEP 2～STEP 3)
(2 / 2 (金) まで)
- 2 / 6 (火) 一般選拔出願情報登録開始～入学検定料納付まで (STEP 2～STEP 3)
(2 / 9 (金) まで)
- 2 / 1 2 (月) 一般選抜STEP 3まで終了

Web出願登録方法については、以前配付した手引きを参考にしてください。STEP 2の出願登録が終わったところで、中学校で登録内容の確認をします。もし不備があった場合は、中学校から差戻しとなるので、そのときは登録内容の修正をしてください（そのときは、本人にも直接連絡します）。その後、STEP 3に進み、入学検定料の納付となります。出願期間内に納付されないと、出願が全て取り消しとなってしまいますので、必ず期間内に納付をお願いします。



【入試日程】

- 2 / 6 (火) 推薦・特色選抜入試
- 2 / 8 (木) 推薦・特色選抜合格発表 (12:00～)
不合格の場合、担任の先生の確認の後に一般選抜登録を
- 2 / 9 (金) 定時制前期選抜入試
- 2 / 1 5 (木) 定時制前期選抜合格発表
- 2 / 2 2 (木) 一般選抜学力検査
- 2 / 2 6 (月) 一般選抜Aグループ面接
- 2 / 2 7 (火) 一般選抜Bグループ面接
- 3 / 8 (金) 一般選抜合格発表



須浪の独り言

数学の入試対策問題に取り組んだところ、

「関数の問題が難しい」

「箱ひげ図なんて忘れちゃいました」

「図形の問題は見たくもない」

という声を聞きました。毎年、受験生が苦勞するところは変わらないなあと思いましたが、特に図形に関しては、三角形の合同、平行線と線分の比、立体の表面積や体積など、毎年のように愛知県公立高校入試で出題されます。

図形の問題で「△ABCの面積を求めなさい」と出題されたとき、おそらく三角形の面積＝底辺×高さ÷2の公式についてはパッと答えられると思いますが、その「底辺」や高さがどこを示しているのか、どうすれば求められるのか、というところでつまずく人が多いと思います。それらのパーツごとに分けて考えることにより、一つずつクリアすることができ、最終的な答えにたどり着けるといいなあと思います。あとは、同じような問題を何回か繰り返すことで、解き方の定着も図れると思います。臆することなく、とことん挑戦していきましょう。

